本院の放射線科に通院中の患者さまへ

当院では、「体幹部血管病変に対する血管塞栓術後治療効果判定法としての UTE-ASL MRA の有用性に関する研究」という臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の画像データを再解析し，体幹部の血管病変（動脈瘤や動静脈奇形）の血管塞栓術後の治療効果判定法としての Ultra-short echo time with arterial spin labeling 法非造影 MR 血管撮像（UTE-ASL MRA）の有用性を評価するものです．この研究の計画書や研究方法に関する資料は入手、閲覧が可能です。

【対象となる方】 2019 年 10 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日の間に、体幹部の動脈瘤や動静脈奇形の血管塞栓後治療効果判定目的に UTE-ASL MRA および造影 MRA（いずれも 3 テスラ装置)、血管造影が撮像された方を対象とします。

【研究課題名】体幹部血管病変に対する血管塞栓術後治療効果判定法としての UTE-ASL MRA の有用性に関する研究

【研究責任者】 自治医科大学附属さいたま医療センター放射線科　湯澤　寛尚

【目的】体幹部血管病変に対する血管塞栓術後治療効果判定法としての UTE-ASL MRA の有用性を評価することを目的としています。この研究の結果からは、血管塞栓術後の治療効果判定を行う際に、造影剤による副作用や放射線被爆のリスクを低減させられるなどの臨床的意義が期待されます。

【研究資金・利益相反】 本研究は当該施設の研究費で行われており、特定の企業などからの支援は受けておりません。 「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、 本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）は発生しません。

【利用するカルテ情報・資料】
年齢、性別、既往歴、MRI（MRA）および血管造影画像

【研究期間】倫理委員会承認後より 2022 年 3 月 31 日まで(予定)

【研究の参加等について】
本研究へ臨床データを提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に臨床データを使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者

さんの臨床データは研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。患者さんの臨床データを使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の研究責任者までお申し出下さい。

【個人情報の取り扱い】
お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後 5 年間保存いたします。

【問合せ先】
本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。 御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021 年 12 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。対象の方が未成年の場合には、保護者などの代諾者の方のご意思を尊重いたします。この場合診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

自治医科大学附属さいたま医療センター放射線科　湯澤　寛尚（ゆざわ　ひろなお）
電話 048-647-2111(代表)　内線(2610)

【苦情の窓口】
自治医科大学附属さいたま医療センター総務課
電話 048-648-5225